

未来を、仕掛ける。



Finding the right solution, just for you

**2021年3月期
決算説明会**

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

1. 業績ハイライト	P - 03
------------	--------

2. JASTグループの概要	P - 06
----------------	--------

3. JASTグループの特長	P - 08
----------------	--------

4. 2021年3月期 の業績分析	P - 17
-------------------	--------

5. 今後の計画・方針	P - 28
-------------	--------

1. 業績ハイライト

1-1. 連結業績

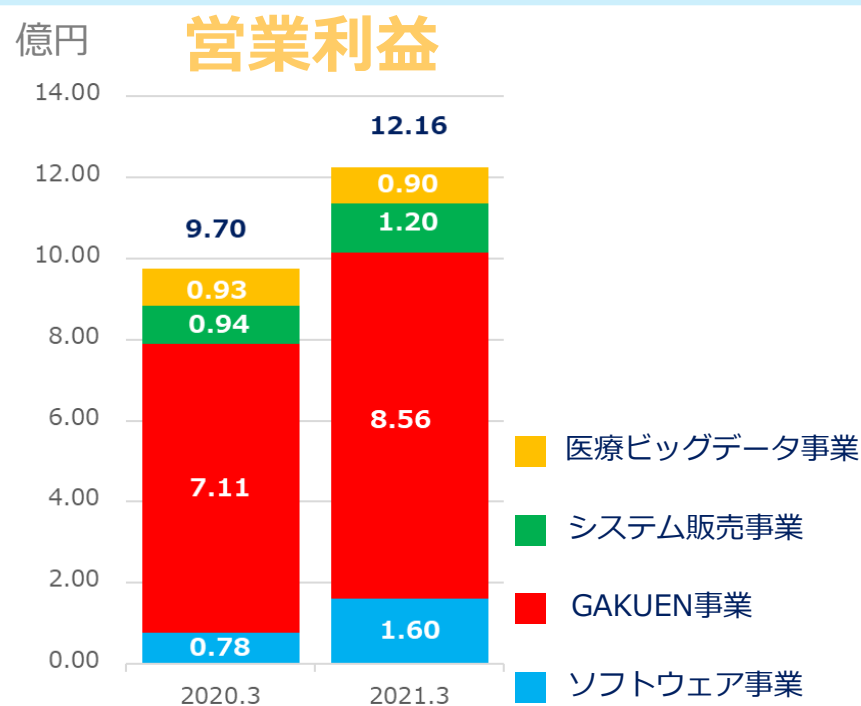
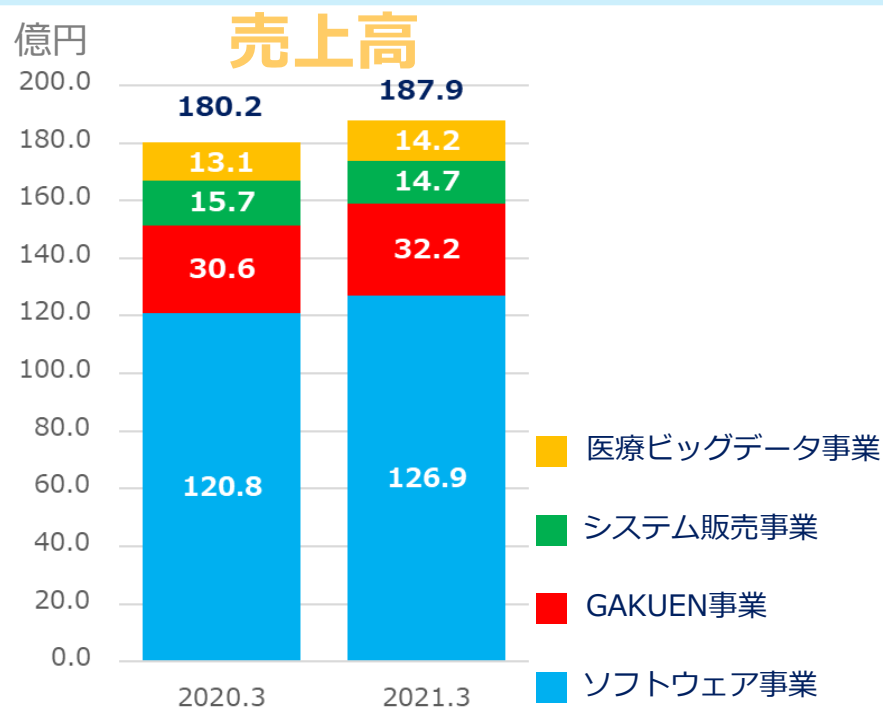
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比
売上高 (百万円)	16,868	18,019	18,789	104.3%
売上総利益 (百万円)	3,840 22.8%	4,412 24.5%	4,620 24.6%	104.7%
営業利益 (百万円)	852 5.1%	970 5.4%	1,216 6.5%	125.4%
経常利益 (百万円)	866 5.1%	1,021 5.7%	1,310 7.0%	128.3%
当期純利益 (百万円)	317 1.9%	▲30 -0.2%	578 3.1%	—
一株当たり当期純利益 (円)	60.58	▲5.76	107.95	—
総資産 (百万円)	13,636	12,988	12,861	99.0%
純資産 (百万円)	6,418	6,218	6,850	110.2%
自己資本比率 (%)	46.8	47.7	53.0	+5.3
自己資本利益率 (%)	5.1	▲0.5	8.9	+9.4
従業員数 (人)	1,111	1,164	1,320	+156

* %数値は各々の利益率及び前年対比を表します。

COVID-19の直接的影響をクリアし、売上高は10期連続、経常利益は6期連続で増収増益、さらに、売上高は8期連続、経常利益は2期連続で“創業来最高値”を更新

1. 業績ハイライト

1-2. 事業別ダイジェスト



- ◆ソフトウェア事業 : サービス・流通業向け案件が減収の一方、通信業、製造業及び金融・保険・証券業向け案件等の好調により増収増益
- ◆GAKUEN事業 : 新製品RX、導入支援及び保守サービス等の好調により売上、営業利益とも事業発足来最高値を更新
- ◆システム販売事業 : 大学及び公共系案件が前年を下回り減収も、高収益案件の構成比増及び販管コスト減により増益
- ◆医療ビッグデータ事業 : 保険者業務支援サービス及び生活保護等版レセプト管理クラウドサービスの好調により事業発足来最高売上を更新。一方、研究開発及び人員増強等先行投資増により微減益

1. 業績ハイライト

1-3. 最近のトピックス

ソフトウェア事業

- * BankNeo 新製品「SMART BankNeo」販売開始（2021年5月）
- * タレントマネジメントサービス「mieHR」提供開始（2020年10月）
- * 「EC サイト構築支援サービス」開始（2020年6月）

GAKUEN事業

- * 大阪公立大学へのGAKUENシリーズ導入決定（2020年12月）
- * GAKUEN サブスクリプション販売開始（2020年9月）
- * GAKUEN シリーズ 導入実績 400 校突破（2020年5月）
- * 新製品「GAKUEN R X」販売開始（2020年4月）

医療ビッグデータ事業

- * 慶應義塾大学および理化学研究所との新型コロナウイルスに関する共同研究開始（2020年11月）
- * 「J M I C S サービス」における保険者業務支援システム『 i B s s 』リリース（2020年10月）

その他

- * 第2回新株予約権の発行（2021年3月）
- * 健康経営優良法人2021認定（2021年3月）
- * 連結子会社AG NET PTE.LTD. の株式取得時に係るのれん等について、当第2四半期で減損損失を計上（2020年9月）

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

東証1部 略称JAST（ジャスト） 証券コード4323

設 立	1973年〔昭和48年〕3月
資本金	10億7,666万円〔2021年3月末現在〕
系 列	なし〔完全独立系〕
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー28・29階
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル5・26・27階
代表者	代表取締役社長 平林 武昭

単位：百万円

2021年3月期の業績	連結	単体
売上高	18,789	15,203
営業利益	1,216	1,001
経常利益	1,310	1,106
当期純利益	578	401
従業員数（人）	1,320	827

* 連結子会社12社〔東京・大阪・シンガポール・タイ・マレーシア・中国〕

* 2021年4月1日付の新入社員（連結）74名

各種資格

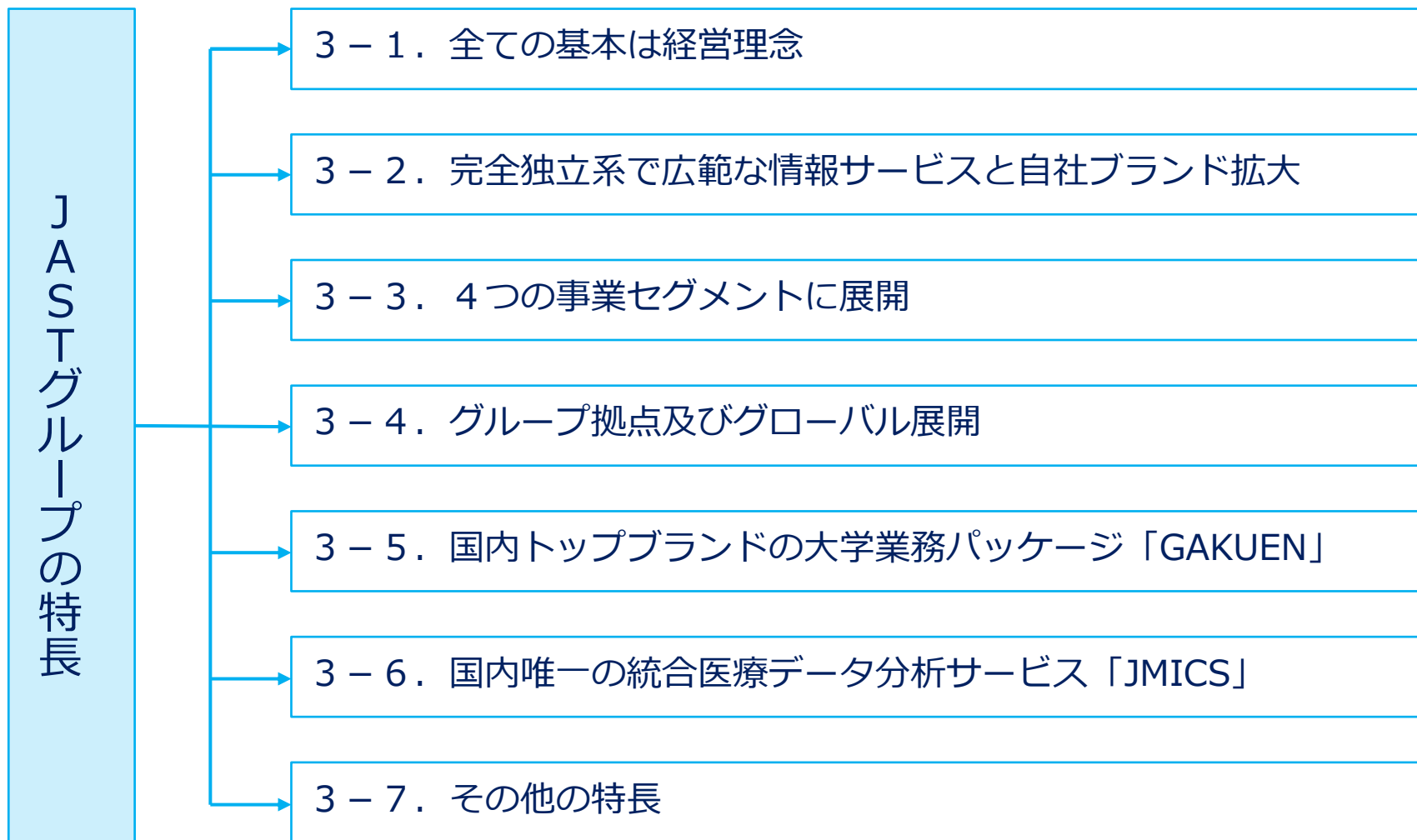
- ◆ プライバシーマーク認定
- ◆ ISO9001 登録事業者
- ◆ ISO14001 登録事業者
- ◆ ISO27001 登録事業者
- ◆ ISO20000 登録事業者（※）
- ※同社ヘルスケアバージョン事業部で登録
- ◆ 健康経営優良法人2021



2-2. 単体業績の推移



3. JASTグループの特長



「情報化の創造・提供による社会貢献」を企業理念として、いかなる企業系列にも属さない完全独立系の立場を堅持することにより、業種、技術分野、プラットフォーム等を問わず、常に最新の技術に挑戦しつつ、自由な立場で幅広い分野の開発業務に取り組むことを経営の基本方針としております。

この基本方針に則り、お客様、株主、社員、社会がそれぞれwin-win（双方有益）の関係を築くべく、「四方良し」の理念を掲げ、それぞれの価値を最大化し、全体としての企業価値を高めることにより、安定的成長を実現することを目標としております。

また、こうした成長の原動力となるのは従業員ひとりひとりの情報システム開発に対する情熱と顧客への誠心誠意のサービスであり、そのためには人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信念に基づいた「人づくり」経営に徹することとしております。

松尾芭蕉の確立した「不易流行」（本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造すること）の理念に則り、経営理念を「不易」＝変わらぬ原則として一貫し、変わる経営＝「流行」を正しくリードします。

～ 経営理念の基本的な考え方 ～

天爵を修めて人爵これに従う

「天爵」とは、人として不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めていくことで、尊敬され信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位を意味し、「人爵」とは、業績や経験に基づき団体や上司から人為的・便宜的に与えられた外見上の位階を指しています。

天爵を修めることに努め、結果として自ずと人爵を与えられるのが理に適う順序立てであるのに、人は先に人爵を与えられるとあたかも自分は天爵も得たものと錯覚してしまい、それが態度や行動に出てしまうことが多い。これは本末転倒であるとの考えに基づき、一人ひとりがまず天爵を修めることを究極のテーマとして日々の生活を送ることを奨励しています。

メーカーや系列等一切の制約がなく、自由な立場で広範なサービスをご提供します

ソフトウェア 事業

ソフトウェアの
受託開発

JAST
ブランド

GAKUEN 事業

大学経営ソフトウェア
パッケージ開発・販売

システム販売 事業

BtoBマルチベンダー
ITインフラの構築

JAST
ブランド

医療 ビッグデータ 事業

医療情報データの点検
分析及び関連サービス

・ **ビジネスアプリケーション**
各業界向けにシステムの提案から開発、
運用、保守まで一貫したITサービス

・ **エンジニアリングアプリケーション**
スマートデバイスやAV機器組込みシス
テム、地デジ・カーナビ等情報通信関
連システム、ドライブサポートシステ
ム

大学経営システムのトップブラン
ド「GAKUEN」シリーズ
を中核とした、文教ITのトー
タルサービス

文教・公共系マルチベンダーの
ITインフラ構築及び関連SIなど、
独自のサービス

レセプト自動点検、ジェネリック
通知、データヘルス計画、保
険者業務支援サービス、生活保
護向けクラウド版システム、
データ利活用など医療関連の
ビッグデータソリューション

・ **その他自社ブランドサービス（ソフトウェア事業）**

金融機関向けパッケージソリューション

JAST
ブランド

地銀、信金、信組様向けCRM/SFAシステム「BankNeo」

BankNeo

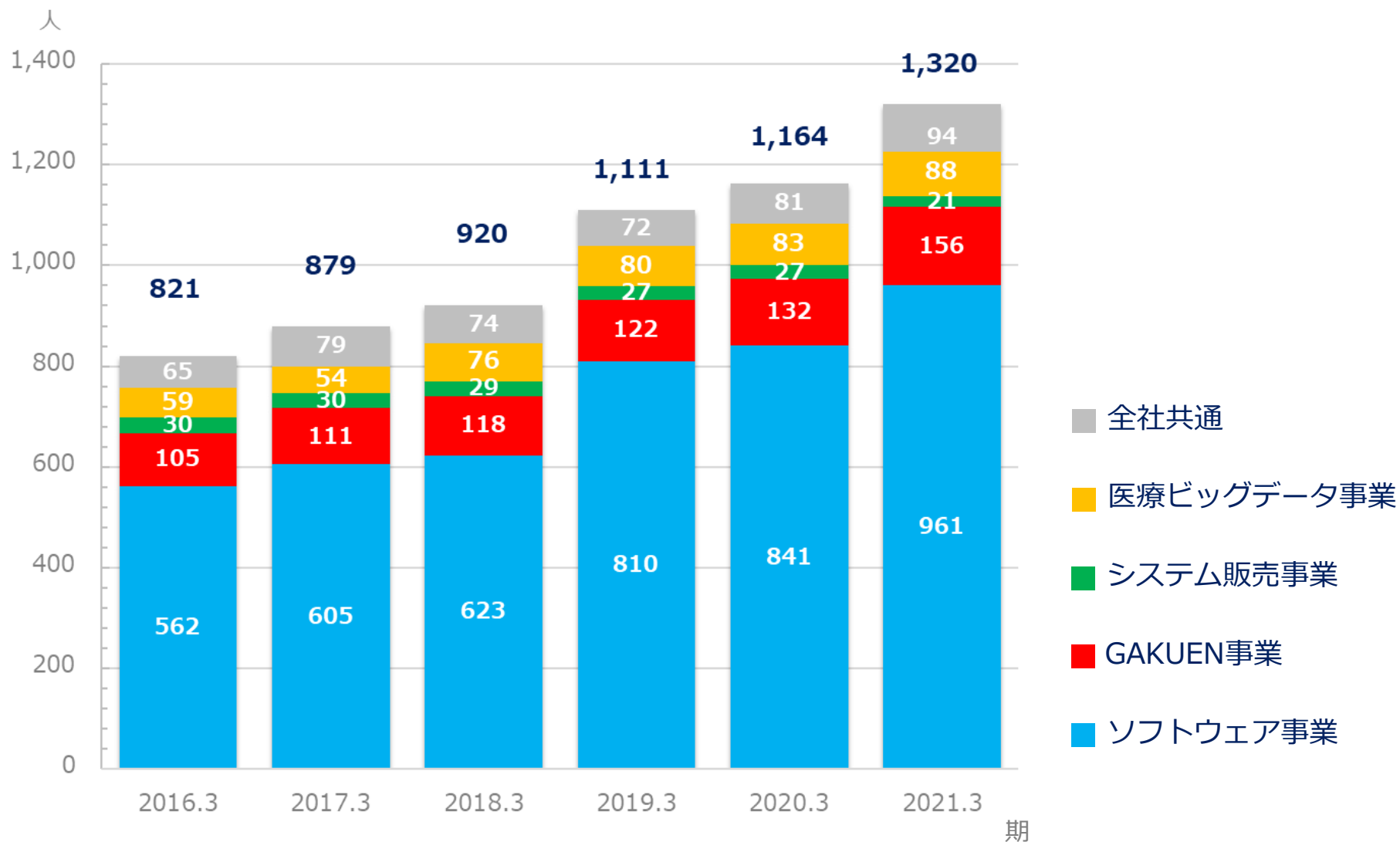
AGHRM（人材資源開発ソリューション）

JAST
ブランド

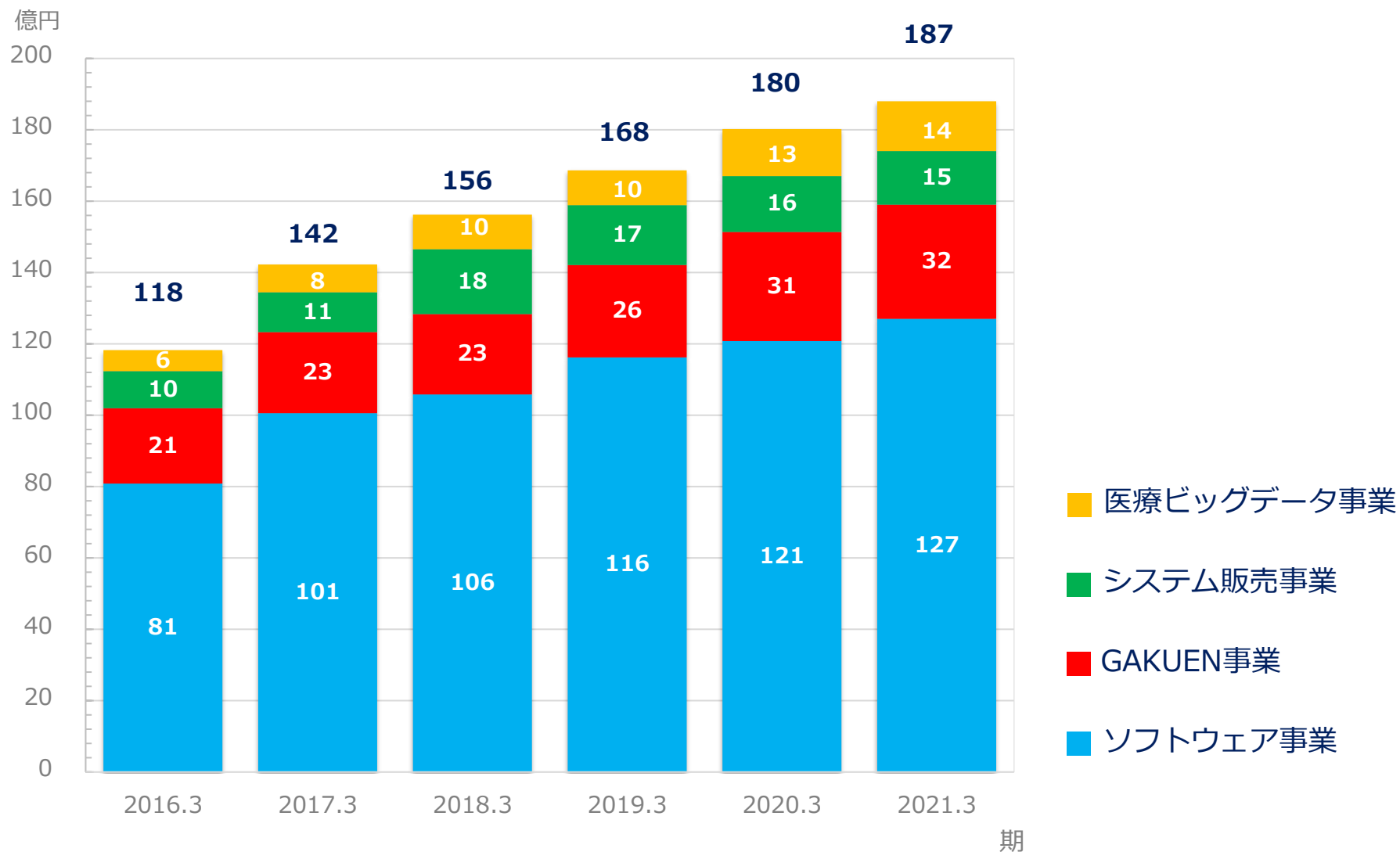
人事・労務管理・給与計算・人材マネジメントなど、人材管理の統合
サービスを多国展開

AGHRM®

連結従業員数（期末）

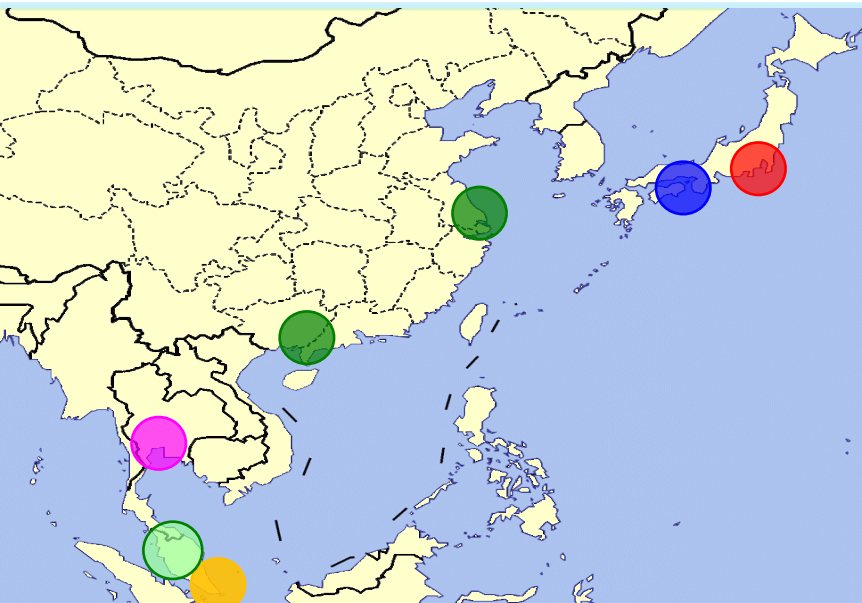


連結売上高



3. JASTグループの特長

3-4. グループ拠点及びグローバル展開



大阪本社

大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー28・29階



東京本社

東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル5・26・27階

アルファコンピュータ株式会社

東京都品川区 ★マルチベンダ I T インフラ設計 (システム販売)

株式会社アイエスアール

東京都千代田区 ★受託開発、パッケージ開発・販売

株式会社新日本ニーズ

大阪市 ★地域密着型受託開発

Virtual Calibre グループ (3社)

マレーシア クアラルンプール近郊 ★SAP事業展開

JAST TECHNIQUES PTE. LTD.

シンガポール ★現地日系企業向け開発

AG NET PTE.LTD.

シンガポール ★HRM事業展開

JASTEC(THAILAND) CO., LTD.

タイ バンコク ★現地日系企業向け開発

JAST ASIA PACIFIC CO., LTD.

タイ バンコク ★ASEAN地域でのJASTブランド展開

桂林安信軟件有限公司

中国広西チワン族自治区桂林市 ★オフショア開発拠点
★中国国内拡販拠点

上海嘉峰信息科技有限公司

中国上海市 ★中国の開発兼プログラクツ販売拠点

3. JASTグループの特長

3-5. 国内トップブランドの大学業務パッケージ「GAKUEN」

導入実績：2021年5月31日現在

導入実績

大学：309校
短大：90校
他：18校
合計：417校

県立広島大学(公)
山口県立大学(公)
島根県立大学(公)
広島経済大学
近畿大学工学部
比治山大学
岡山理科大学
ノートルダム清心女子大学

大阪市立大学(公)
兵庫県立大学(公)
京都府立大学(公)
近畿大学
甲南大学
佛教大学
阪南大学
桃山学院大学
京都橘大学
大手前大学
神戸女学院大学
大阪芸術大学
大阪音楽大学
大阪医科薬科大学

山形県立保健医療大学(公)
東北福祉大学
宮城学院女子大学
東北文化学園大学
東北芸術工科大学
日本大学工学部

福井大学(国) 公立小松大学(公)
新潟医療福祉大学
新潟薬科大学
北陸大学

北海道教育大学(国)
公立はこだて未来大学
酪農学園大学

東京理科大学
慶應義塾大学
東京電機大学
桜美林大学
日本大学薬学部
文教大学
玉川大学
日本女子大学
武蔵大学
日本体育大学
共立女子大学
フェリス学院大学
國學院大学
大妻女子大学
順天堂大学

香川県立保健医療大学(公)
聖カタリナ大学

福岡工業大学
中村学園大学
熊本学園大学
近畿大学産業理工学部
九州国際大学
日本文理大学

三重大学(国)
愛知県立大学(公)
名城大学
名古屋外国語大学

愛知教育大学(国)
静岡県立大学(公)
愛知大学
東海学園大学

導入実績417校

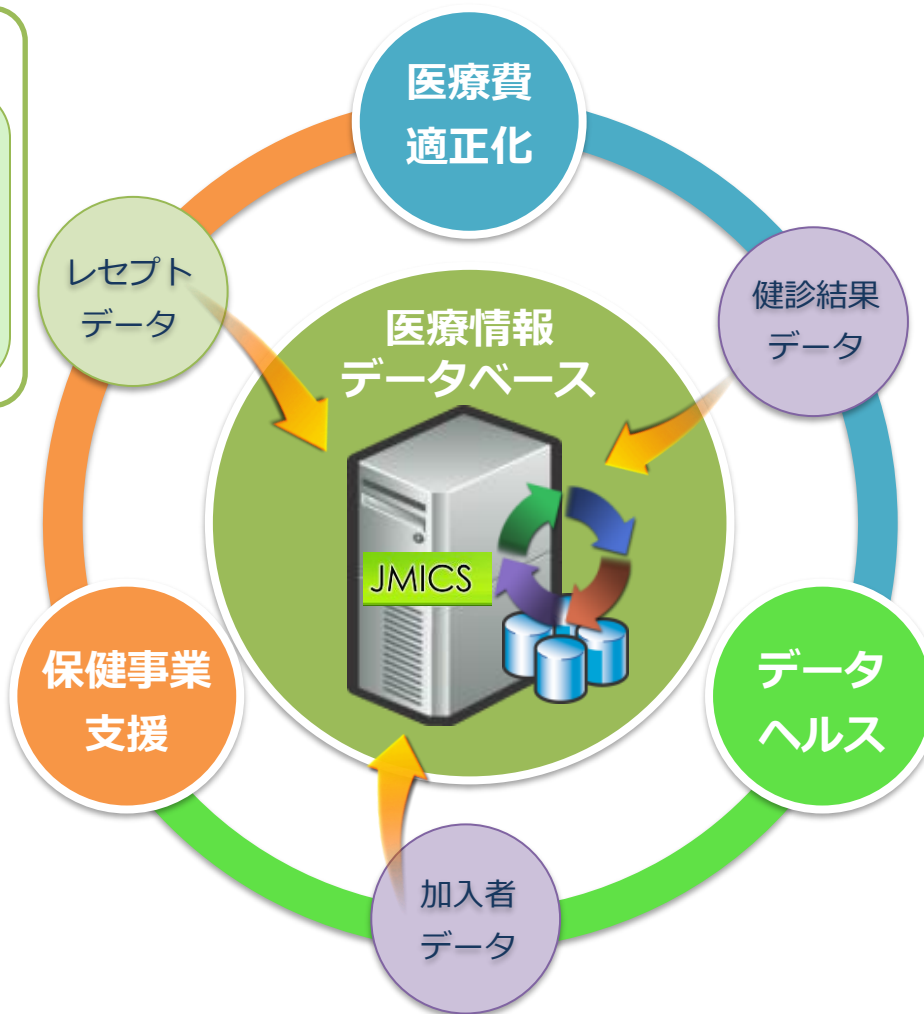
JMICS JAST Medical Insurance Checking Service

点検サービス

- ・レセプト内容点検
- ・アウトソーシング
- ・ユーザークラウド
(保険者様向け)
- ・ビジネスクラウド
(点検事業者様向け)
- ・海外療養費点検
- ・柔整点検

医療費適正化サービス

- ・ジェネリック促進通知
- ・花粉症通知
- ・統合通知
- ・頻回、重複受診者対応
- ・第三者求償対象者対応
- ・時間外加算者対応
- ・医薬品重複投与者対応



保健事業支援サービス

- データヘルス策定から
実行のトータルサポート
- ・RezeptPlus
(生活保護版レセプト管理
クラウドサービス)
- ・リスカルくん
(保険事業支援ツール)
- ・事業所別分析レポート/
加入者向け健康レポート/
健康白書等の作成
- ・受診勧奨通知
- ・レセプト/健診データ分析
- ・ハイリスク者階層化分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・保健師/管理栄養士による
保健指導/セミナー/健康教室

事務効率化サービス

- ・iBss(保険者業務支援システム)
- ・インフィニティ補助WEB
申請システム
- ・WEB検認システム
- ・検診事務/各種事務代行

長期安定成長の実現

人物重視

- * 新卒採用による長期人材育成とキャリア採用によるプロフェッショナル人材確保のハイブリッド型採用戦略
- * 人材流動の激しい業界内で高い社員定着率

品質安定
知見・ノウハウの蓄積

特徴的な営業戦術

- * S E 自らリピート案件発掘
- * 新規顧客は専門営業がソリューション提案
- * 異業種カスタマ層へのマーケティング展開
- * 他社とのコラボ企画・共同提案

性格の異なる4事業の
共存共栄に成功

品質・信頼へのこだわり

- * 「一括丸投げ」は行わない、社員中心のプロジェクト編成
- * 請負った案件は満足頂くまでやり抜く、途中退場はしない

高いリピートオーダー率
大手顧客との長期取引

積極的な先行投資

- * 業界平均を上回る研究開発費率で次世代製品開発/新技術研究を加速
- * M & A・業務提携等の推進によりビジネスシナジー創出

新商材、新ビジネス
発掘・創出のサイクル化

徹底したコスト管理

- * 間接部門を含む全活動をプロジェクト化し原価管理
- * コンパクトな本社間接部門

問題の早期発見による
不採算案件の最小化、
低コスト体質

4. 2021年3月期の業績分析

4. 2021年3月期の業績分析

4－1. 連結業績の推移

4－5. キャッシュフローの推移

4－2. 事業セグメント別業績

4－6. 株価の推移と流動施策

4－3. カテゴリ別業績

4－7. 日経平均株価との相関

4－4. 貸借対照表の推移

4. 2021年3月期の業績分析

4-1. 連結業績の推移

単位：百万円

	2019年3月			2020年3月			2021年3月			前年比		
	上期	下期		上期	下期		上期	下期		上期	下期	
売上高	8,024	8,844	16,868	8,610	9,409	18,019	8,042	10,747	18,789	93.4%	114.2%	104.3%
売上原価	6,319	6,709	13,028	6,696	6,911	13,607	6,267	7,902	14,169	93.6%	114.3%	104.1%
	78.8%	75.9%	77.2%	77.8%	73.5%	75.5%	77.9%	73.5%	75.4%	0.2%	0.1%	▲0.1%
売上総利益	1,705	2,135	3,840	1,914	2,498	4,412	1,775	2,845	4,620	92.7%	113.9%	104.7%
	21.2%	24.1%	22.8%	22.2%	26.5%	24.5%	22.1%	26.5%	24.6%	▲0.2%	▲0.1%	0.1%
販売費及び一般管理費	1,442	1,546	2,988	1,723	1,718	3,441	1,752	1,651	3,403	101.7%	96.1%	98.9%
	18.0%	17.5%	17.7%	20.0%	18.3%	19.1%	21.8%	15.4%	18.1%	1.8%	▲2.9%	▲1.0%
研究開発費	231	261	492	173	269	442	195	204	399	112.7%	75.8%	90.3%
営業利益	263	589	852	190	780	970	23	1,193	1,216	12.1%	152.9%	125.4%
	3.3%	6.7%	5.1%	2.2%	8.3%	5.4%	0.3%	11.1%	6.5%	▲1.9%	2.8%	1.1%
経常利益	280	586	866	202	819	1,021	58	1,252	1,310	28.7%	152.9%	128.3%
	3.5%	6.6%	5.1%	2.3%	8.7%	5.7%	0.7%	11.6%	7.0%	▲1.6%	2.9%	1.3%
当期純利益	175	142	317	▲552	522	▲30	▲309	887	578	56.0%	169.9%	—
	2.2%	1.6%	1.9%	▲6.4%	5.5%	▲0.2%	▲3.8%	8.3%	3.1%	2.6%	2.7%	3.2%
包括利益	—	—	238	—	—	▲119	—	—	749	—	—	—

利益が下期に集中する傾向にあり、特に第4四半期（末）の業績貢献度が高い

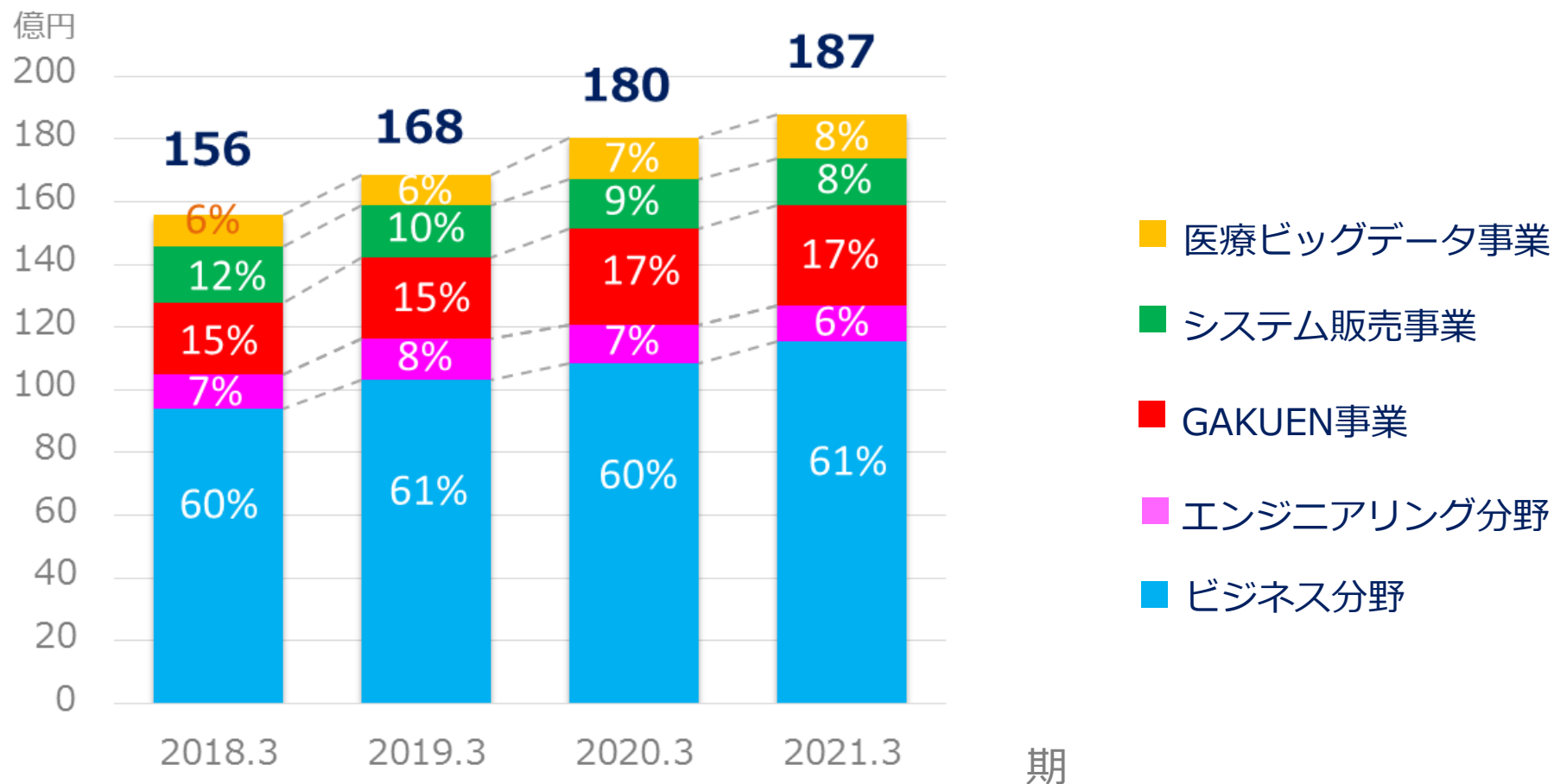
4. 2021年3月期の業績分析

4-2. 事業セグメント別業績

単位：百万円

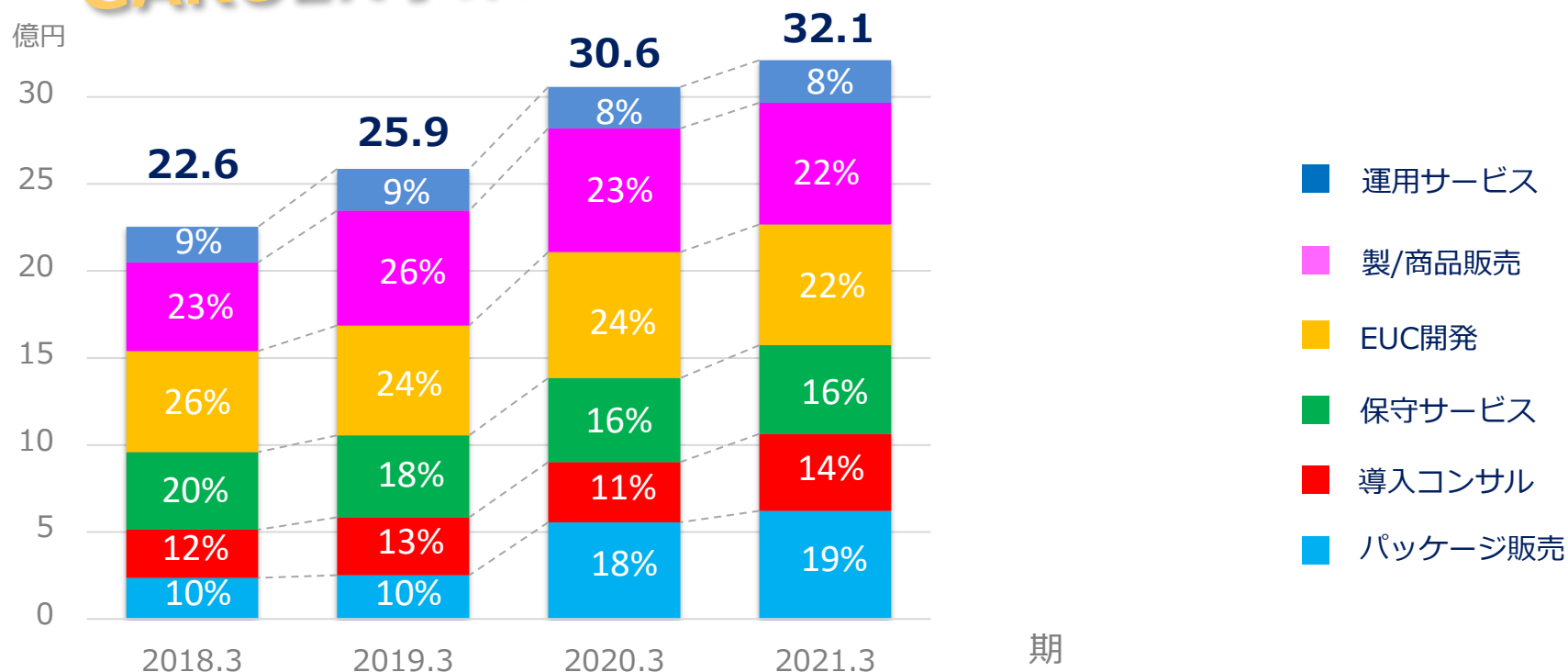
		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	前年比	
		構成	構成	構成	差額	比率
JASTグループ	売上高	16,868	18,019	18,789	770	104.3%
	営業利益	852	970	1,216	246	125.4%
ソフトウェア事業	売上高	11,622 68.9%	12,080 67.0%	12,687 67.5%	607	105.0%
	営業利益	481	78	160	82	205.1%
GAKUEN事業	売上高	2,586 15.3%	3,058 17.0%	3,216 17.1%	158	105.2%
	営業利益	317	711	856	145	120.4%
システム販売事業	売上高	1,681 10.0%	1,566 8.7%	1,465 7.8%	▲101	93.6%
	営業利益	140	94	120	26	127.7%
医療ビッグデータ事業	売上高	977 5.8%	1,313 7.3%	1,419 7.6%	106	108.1%
	営業利益	▲95	93	90	▲3	96.8%

事業セグメント別・分野別売上高



* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

GAKUEN事業の内訳売上高

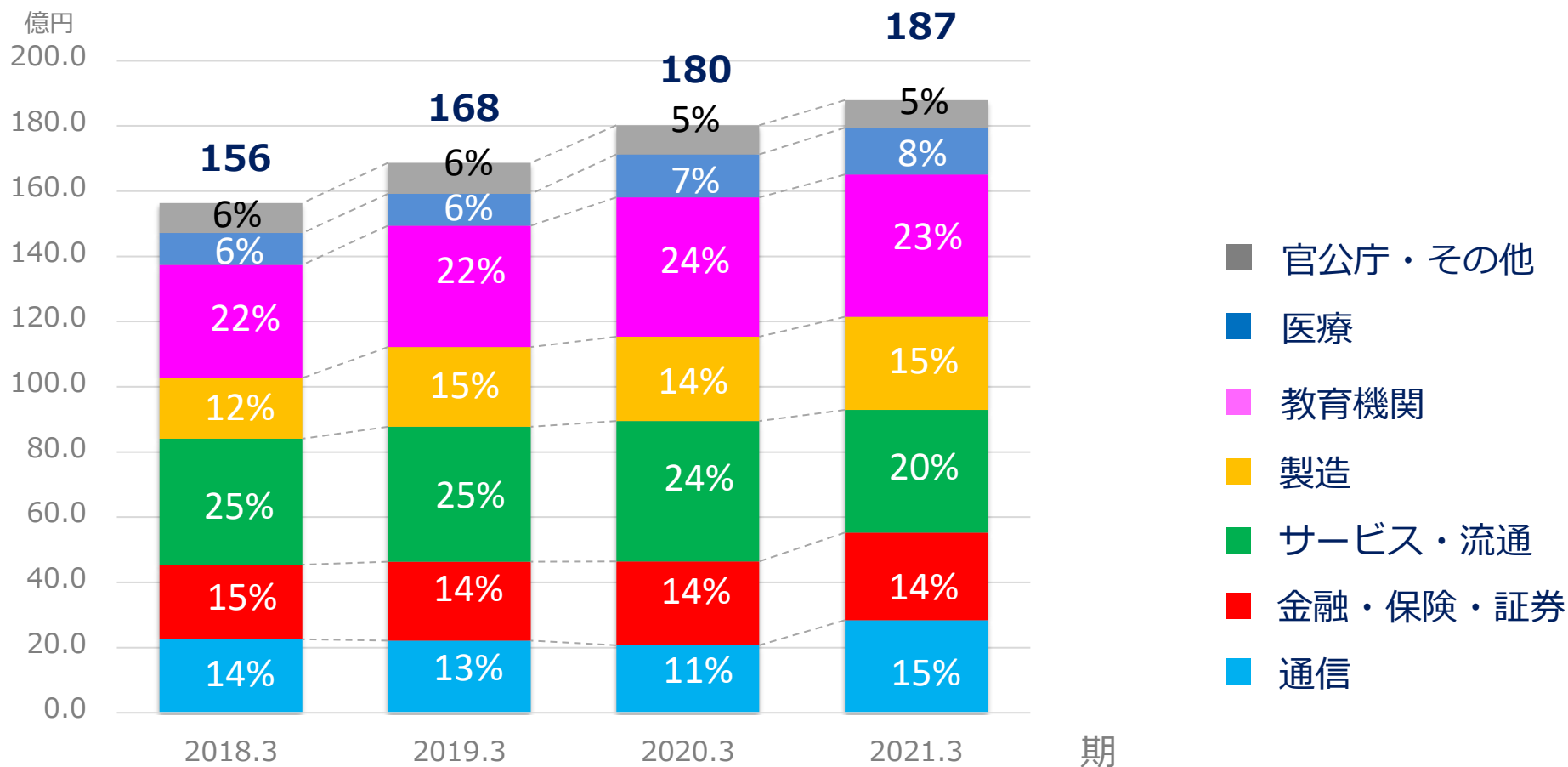


* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

パッケージ販売	学校経営統合パッケージの販売収益
導入コンサル	パッケージの導入支援サービス収益
保守サービス	パッケージの保守契約収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う関連システムの個別受託開発の収益
製/商品販売	ハードウェア及び他社商品の仕入販売収益
運用サービス	システムの運用支援に関する収益

エンドユーザー業種別売上高

連結売上高



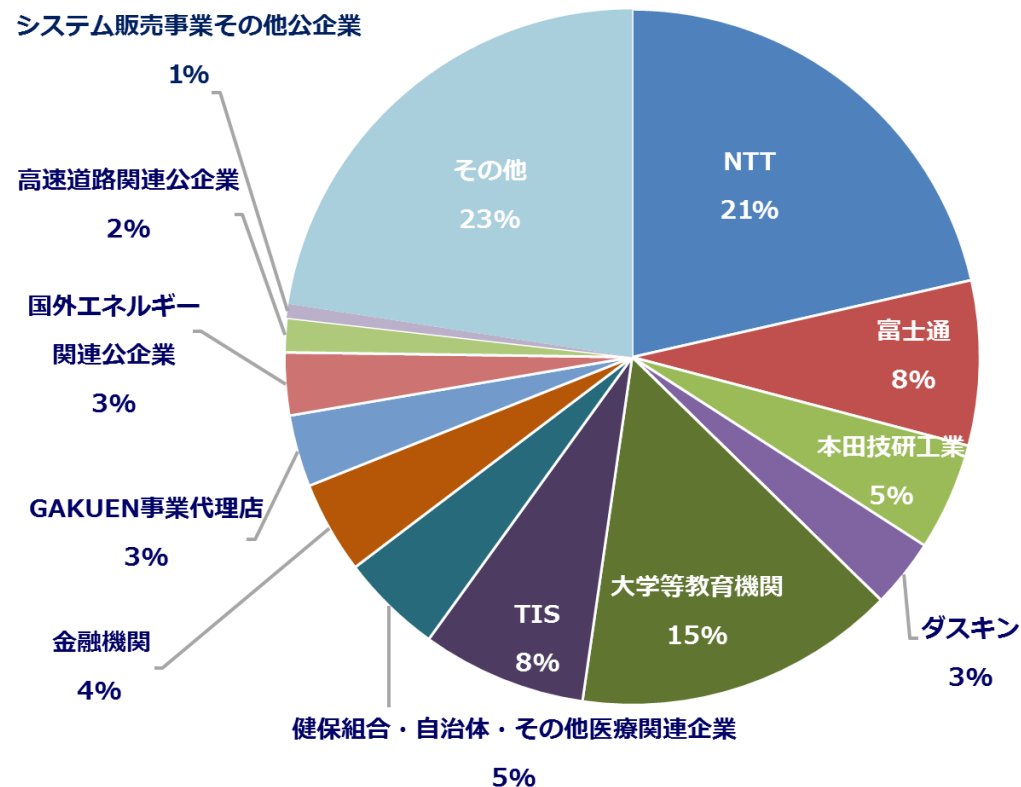
* グラフ内の数値 (%) は連結売上高に対する構成比

4. 2021年3月期の業績分析

4-3. カテゴリ別業績④

顧客グループ別売上高

顧客	2020.3	2021.3
NTT(26年)	17.9%	21.4%
富士通(44年)	9.3%	7.7%
本田技研工業(37年)	4.8%	5.0%
ダスキン(32年)	6.8%	3.2%
上記4社	38.8%	37.3%
大学等教育機関	13.3%	15.0%
TIS	7.1%	7.7%
健保組合・自治体・その他医療関連企業	5.5%	4.7%
金融機関	4.0%	4.3%
GAKUEN事業代理店	3.8%	3.3%
国外エネルギー関連公企業	2.8%	2.9%
高速道路関連公企業	3.3%	1.6%
システム販売事業その他公企業	0.2%	0.6%
その他	21.2%	22.6%
合計	100%	100%



(〇〇年) は取引年数を示す。

財政基盤は安定継続

単位：百万円

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	前期末比	
					差額	比率
資産	12,308	13,636	12,988	12,861	▲127	99.0%
流動資産	9,440	9,610	9,602	9,696	94	101.0%
有形固定資産	523	558	571	542	▲29	94.9%
無形固定資産	124	1,180	794	378	▲416	47.6%
投資その他の資産	2,220	2,287	2,019	2,243	224	111.1%
負債純資産合計	12,308	13,636	12,988	12,861	▲127	99.0%
負債	6,062	7,218	6,770	6,011	▲759	88.8%
流動負債	4,564	5,587	5,168	4,388	▲780	84.9%
固定負債	1,498	1,630	1,601	1,623	22	101.4%
純資産	6,246	6,418	6,218	6,850	632	110.2%
株主資本	5,992	6,244	6,135	6,592	457	107.5%
資本金	1,076	1,076	1,076	1,076	0	100.0%
資本剰余金	994	1,085	1,113	1,128	15	101.4%
利益剰余金	4,188	4,359	4,178	4,605	427	110.2%
自己株式	▲266	▲277	▲233	▲218	15	93.5%
その他の包括利益累計額	207	136	53	220	167	415.1%
新株予約権	—	—	—	5	5	—
非支配株主持分	45	37	28	31	3	110.7%

4. 2021年3月期の業績分析

4-5. キャッシュフローの推移

単位：百万円

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2020年 3月期比 増減
営業キャッシュ・フロー	▲12	132	642	1,342	417	2,131	+1,714
投資キャッシュ・フロー	119	494	147	▲1,063	▲527	87	+614
財務キャッシュ・フロー	▲216	▲122	38	1,157	▲185	▲1,247	▲1,062
現金及び現金同等物の期末残高	1,447	1,951	2,785	4,204	3,908	4,853	+945

4. 2021年3月期の業績分析

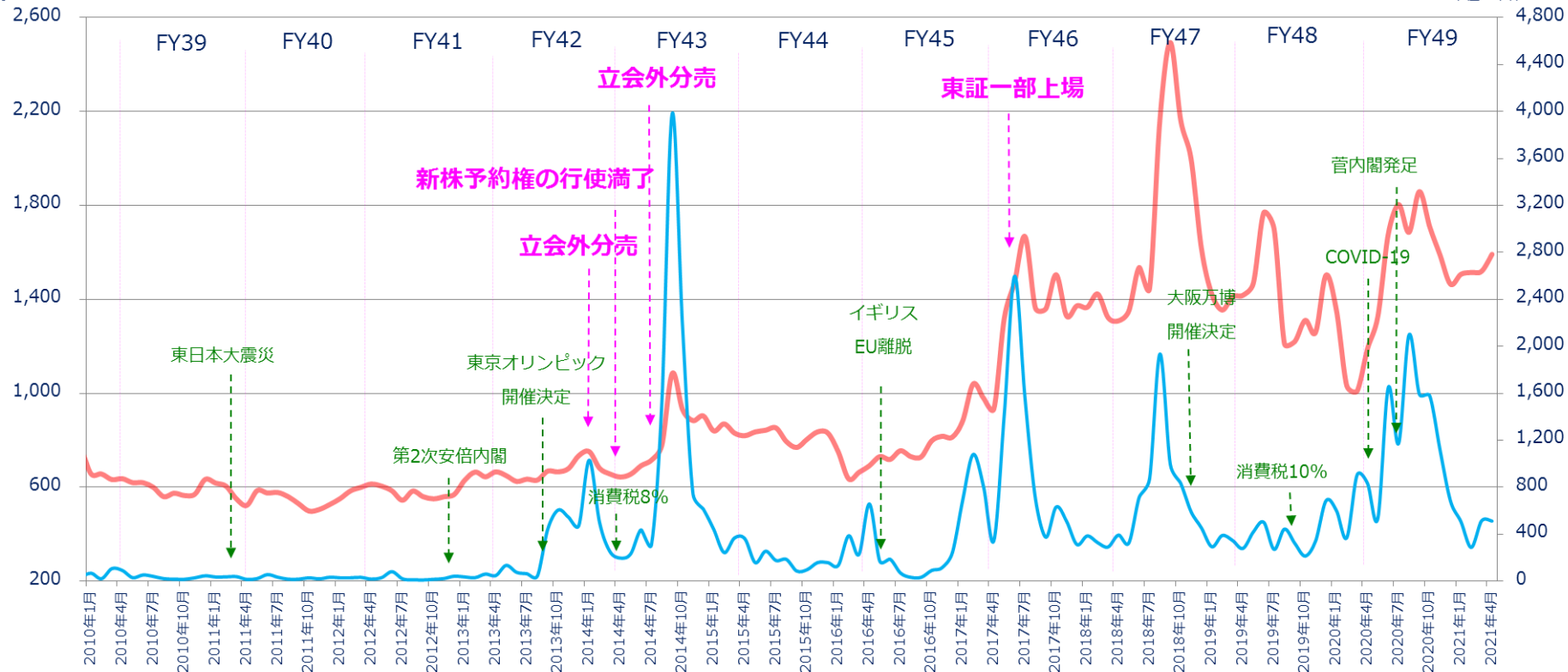
4 - 6. 株価の推移と流動対策

— JAST株価(左目盛)

— JAST出来高(右目盛)

単位：円

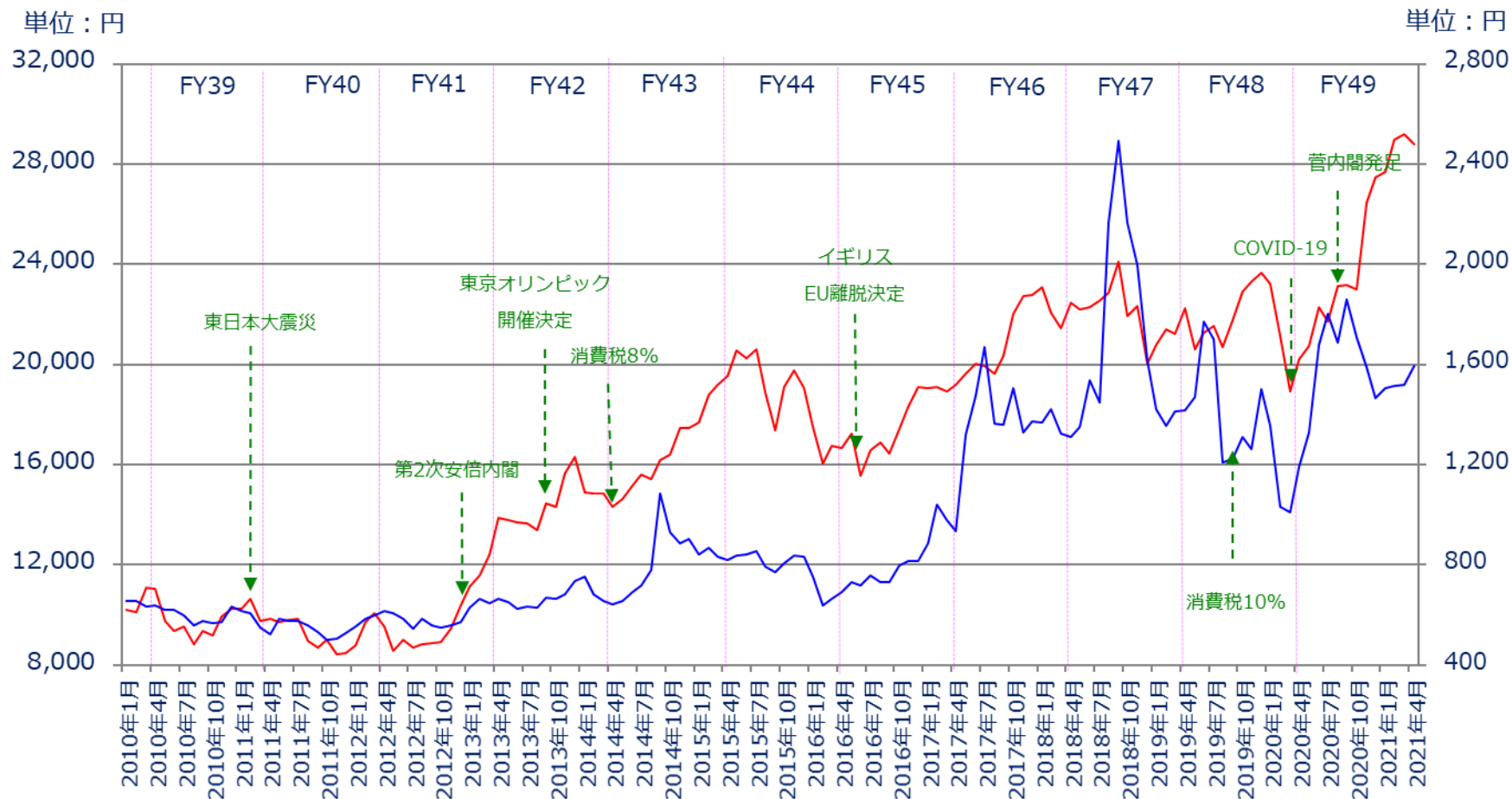
単位：千株



4. 2021年3月期の業績分析

4-7. 日経平均株価との相関

— 日経平均株価(左目盛) — JAST株価(右目盛)



株価 1,571円

EPS 107.95

PBR 1.24

PER 14.55

2021年5月27日終値

5. 今後の計画・方針

5. 今後の計画・方針

5－1. 2022年3月期 年度方針

5－9. 中期事業構想

5－2. 事業方針

5－10. G A K U E N

5－3. 業績予想

5－11. J M I C S

5－4. 業績達成のフィジビリティ分析

5－12. B a n k N e o

5－5. COVID-19の影響と
アウトルック

5－13. ASEAN展開

5－6. 受注残高と売上高の推移

5－14. グループ成長戦略,グローバル化
(売上推移)

5－7. 研究開発計画

5－15. 新領域への適応と
アラインスターゲット

5－8. 資本関連方針

5－16. ESG経営とSDG s への
取り組み

「未来社会へのイノベーションと
高付加価値ビジネスの創出に
より市場を席捲する。」

★事業施策

項目	方針
SI	最大事業基盤としての安定成長、高付加価値分野へのシフト、次世代ビジネスのインキュベーターの三本立て
JASTブランド	GAKUEN:シェア、サービス、商材先進性で更なる独走態勢 医療ビッグデータ:スペシャリスト集団化で市場トップへ BankNeo:独自の商材とサービスコンセプトで中核ブランドへ
成長戦略	アライアンス、グローバル化継続展開
R&D	製品開発と新ビジネスシーズ創出の二本立て 各ブランド、SI事業間の知見横展開による内部シナジー創出

		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	前年比
売上高	(百万円)	18,019	18,789	19,500	103.8%
営業利益	(百万円)	970 5.4%	1,216 6.5%	1,330 6.8%	109.3%
経常利益	(百万円)	1,021 5.7%	1,310 7.0%	1,360 7.0%	103.8%
当期純利益	(百万円)	▲30 -0.2%	578 3.1%	820 4.2%	141.9%
一株当たり当期純利益	(円)	▲5.76	107.95	152.37	141.1%

* 全額の右の%数値は各々の利益率を表します。

5. 今後の計画・方針

5-4. 業績達成のフィジビリティ分析

単位：百万円

	2021年3月期		2022年3月期		前年比	
					金額	比率
売上高	18,789		19,500		+711	+4%
営業利益	1,216	6.5%	1,330	6.8%	+114	+9%
経常利益	1,310	7.0%	1,360	7.0%	+50	+4%
当期純利益	578	3.1%	820	4.2%	+242	—

%数値は対売上高比率



項目	金額〔億円〕
〔A〕 ソフトウェア事業の拡大と収益性向上（BankNeo除く）	約 +2.8
〔B〕 ブランド事業の増益（GAKUEN、医療ビッグデータ、BankNeo）	約 +1.9
〔C〕 その他販管費等（一般管理費増、新規事業推進等）	約 ▲3.5

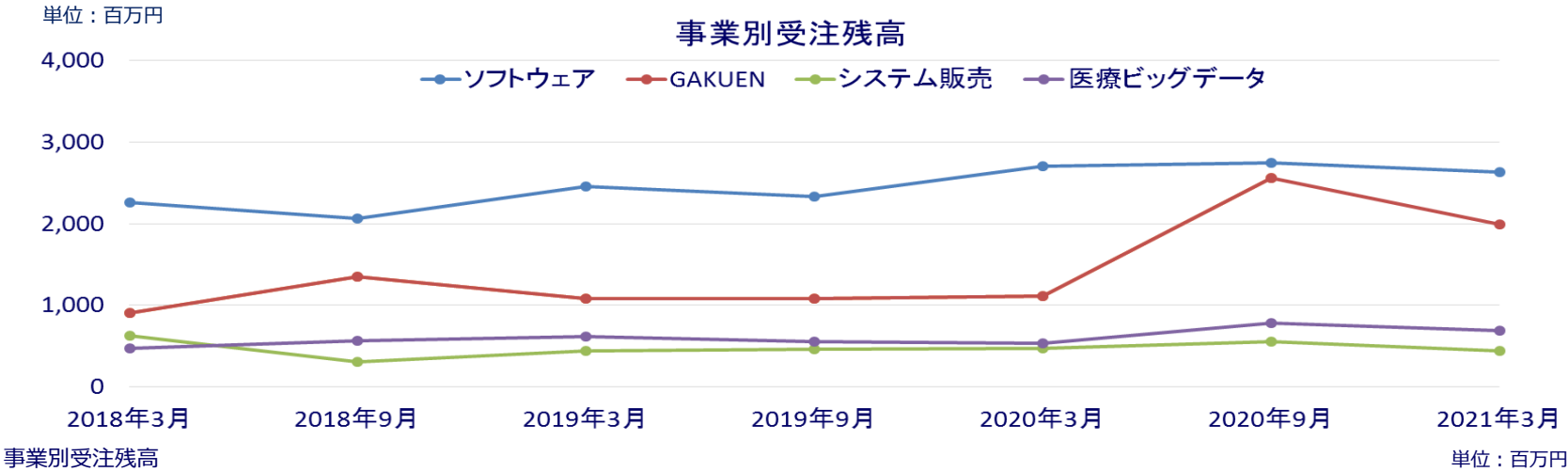
5. 今後の計画・方針

5-5. COVID-19の影響とアウトルック

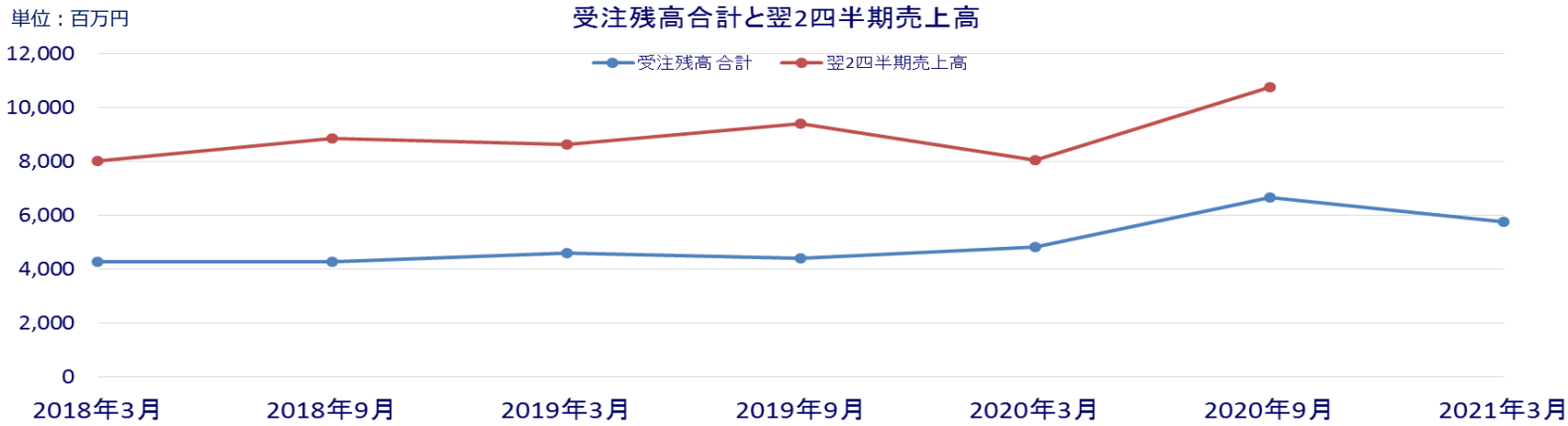
事業	2021年3月期振り返り	現状における進行期アウトルック
ソフトウェア	・サービス/流通、製造業で一部投資凍結及び延伸発生するも、代替案件の獲得活動、リモート需要の取り込みにより影響払拭 ・ウェビナー、オンライン営業等への早期シフトが機会損失抑制と新規取り込みに寄与	・引き続き投資抑制や延伸傾向散見されるも影響限定的にて代替・ヘッジ可能範囲と認識 ・リモート需要の取り込み継続と受注案件のストックにてスタート堅調
GAKUEN	・遠隔授業の増加で既存顧客グレードアップ案件が増加 ・オンライン化推進インフラ増強ニーズの取り込み ・業績への影響はなく堅調推移	・リモート需要の活況は継続 ・顧客・当社とリモート順応が進み、提案・実行中プロジェクトに影響なし～軽微
システム販売	・文教・公共市場に影響なし ・テレワークの普及が経費削減に繋がり利益寄与	・前期と同基調、影響なし～軽微
医療 ビッグデータ	・通院控えによるレセプト枚数の減少(約2割減)によりレセプト点検は軟調推移 ・早期にウェビナー実施等の先手が奏功し商談機会が増加、RezeptPlus・保健事業等が伸長し増収に寄与	・通院控え傾向は当面継続 ・前期と概ね同基調、一部新規提案に顧客検討の延伸あるも、前期からの継続案件に影響なし
全体	【強み認識と結果】 ・営業・開発含め、在宅やリモートでの事業継続が容易なビジネスモデル→認識通りの結果 ・資材調達に係る懸念がほぼなし→認識通りの結果 【脅威認識と結果】 ・感染長期化すれば追加的影響→長期化しているが影響払拭、諸施策奏功し増収増益 ・M&A等、アライアンス機会逸失の可能性→逸失はないが検討は停滞	【強み】 ・増収増益基調継続 ・昨年との違い：1年間の経験蓄積にて当初から先行きを織り込み済みであること ・負の影響を受け難い業種展開、特需期待も 【脅威認識と結果】 ・アライアンス機会（特に国外）の延伸や逸失可能性は継続 ・半導体供給停滞が長期化・広範化すればITサービスサイドに遅れて影響の可能性

5. 今後の計画・方針

5－6. 受注残高と売上高の推移



事業/期	2018年3月	2018年9月	2019年3月	2019年9月	2020年3月	2020年9月	2021年3月
ソフトウェア	2,264	2,066	2,455	2,336	2,706	2,749	2,635
GAKUEN	909	1,346	1,084	1,079	1,109	2,559	1,994
システム販売	630	302	435	457	472	556	440
医療ビッグデータ	468	563	619	549	532	782	693
受注残高 合計	4,271	4,278	4,595	4,423	4,819	6,646	5,761



5. 今後の計画・方針

5-7. 研究開発計画

昨年度比：総額微減、テーマ数増。次世代製品開発/新技術研究へ注力。

単位：百万円

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
研究開発費の合計	458	492	442	399	
ソフトウェア事業	64	54	112	150	
GAKUEN事業	274	332	245	159	
医療ビッグデータ事業	98	65	45	50	
その他	20	39	38	39	

矢印の角度は増加率イメージ

BankNeo
クラウド製品、新商材開発

その他ソフトウェア
顔認証ソリューション、
新商材開発、
AGHRMバージョンアップ

GAKUEN
RX製品ラインナップ完成
周辺ソリューション拡充

JMICS
データ利活用サービス拡大、
BtoBtoC向け製品強化

その他
新商材開発、新技術研究
COVID-19共同研究

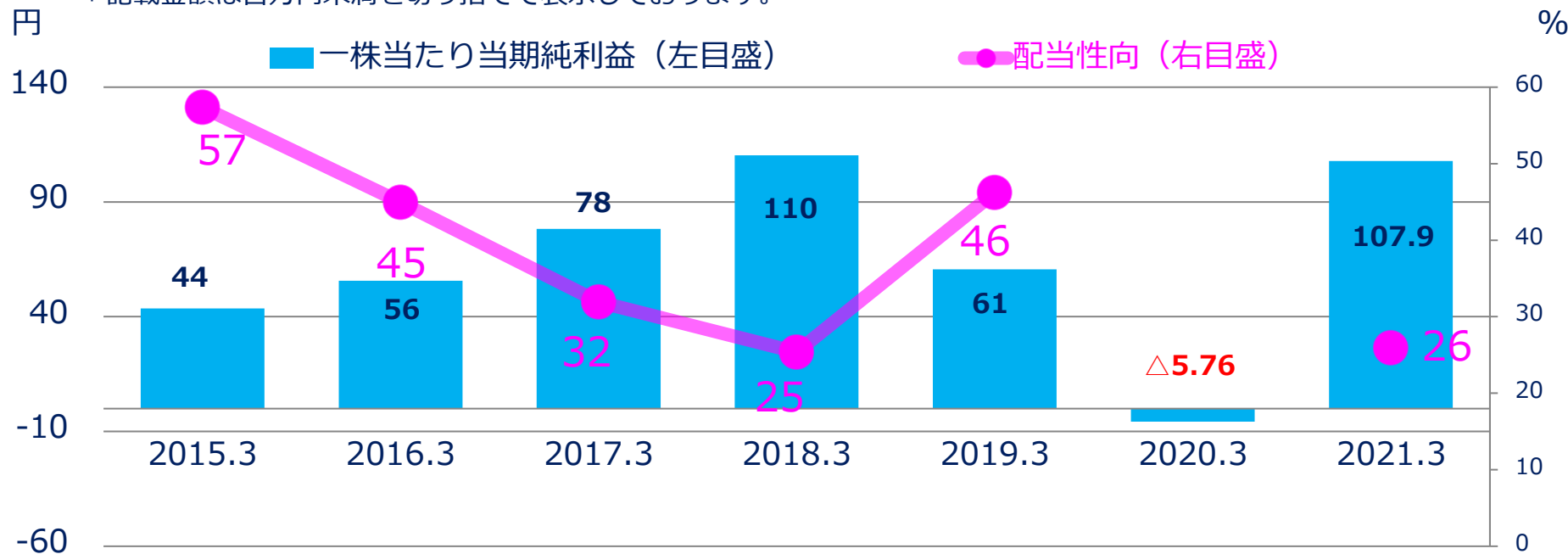
5. 今後の計画・方針

5－8. 資本関連方針

		2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予定)
1株配当金	円	28	28	28	30
期末配当利回り	%	2.0	2.8	1.8	－
期末株主数	人	2,586	2,636	2,693	－
期末時価総額	百万円	7,924	5,668	8,531	－

* 3月期の数値はそれぞれ通期の業績数値を表します。

* 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



2021.3期の中期事業構想ローリング→2026.3期にターゲットを据えた中期構想を策定

2021.3期
中期構想振り返り

事業のすがた

1. 事業構成 ①既存SI：JASTブランドを同規模に ②首都圏の拡大に注力	達成
2. 既存SIの高付加価値化	継続注力
3. メガソリューションへの注力	継続注力

JASTの立ち位置

1. 業界第一階層へ	・増収(10期連続)増益(6期連続) ・サービス系案件、プライム拡大
2. アライアンス推進	・SI：メジャー商材との連携拡大 ・GAKUEN：ベンダ連携、OEM機材 ・医療：産学官連携、業界他社連携
3. グローバル化	ASEAN子会社M&A、商材拡大
4. 人財・処遇一流化	継続注力

事業戦略

- 業績拡大と高収益化**
 - ①SI事業はサービス事業化と高付加価値分野シフト
 - ②ブランド事業は全分野で市場トップを目指す
⇒ポイント：New Normal社会、DX、最新Tech、
"IT"に囚われないサービス拡張
- 各ブランド事業をトップシェアに**
 - ①派生ビジネスを拡大しマーケットを拡大
 - ②データ利活用/新技術を駆使し製品優位性を強化
⇒商材拡充によるシェア拡大と、新収益モデルの創出
- 新規事業の創出**
⇒基礎研究と商材開発の平行展開で、
新たな収益源の創出、起業マインドの醸成

経営基盤戦略

- 環境適応**
 - ①JAST流のNew Normal Business Ecosystemを構築
⇒業務DX化とワークスタイル改革の徹底推進による
場所・環境・状況を問わない人財力・生産性の向上
 - ②証券市場再編、CGC：マイルストーン作成し着実に実行
- ハイレベル人財輩出**
 - ①処遇エクセレント化と人財育成・キャリア支援の継続
⇒IT人材全般の不足の風潮下での人財調達力・従業員定着度の向上と、事業拡大の加速
- M&A/アライアンス/社内知見交流の継続拡大**
⇒シナジー創出による成長継続

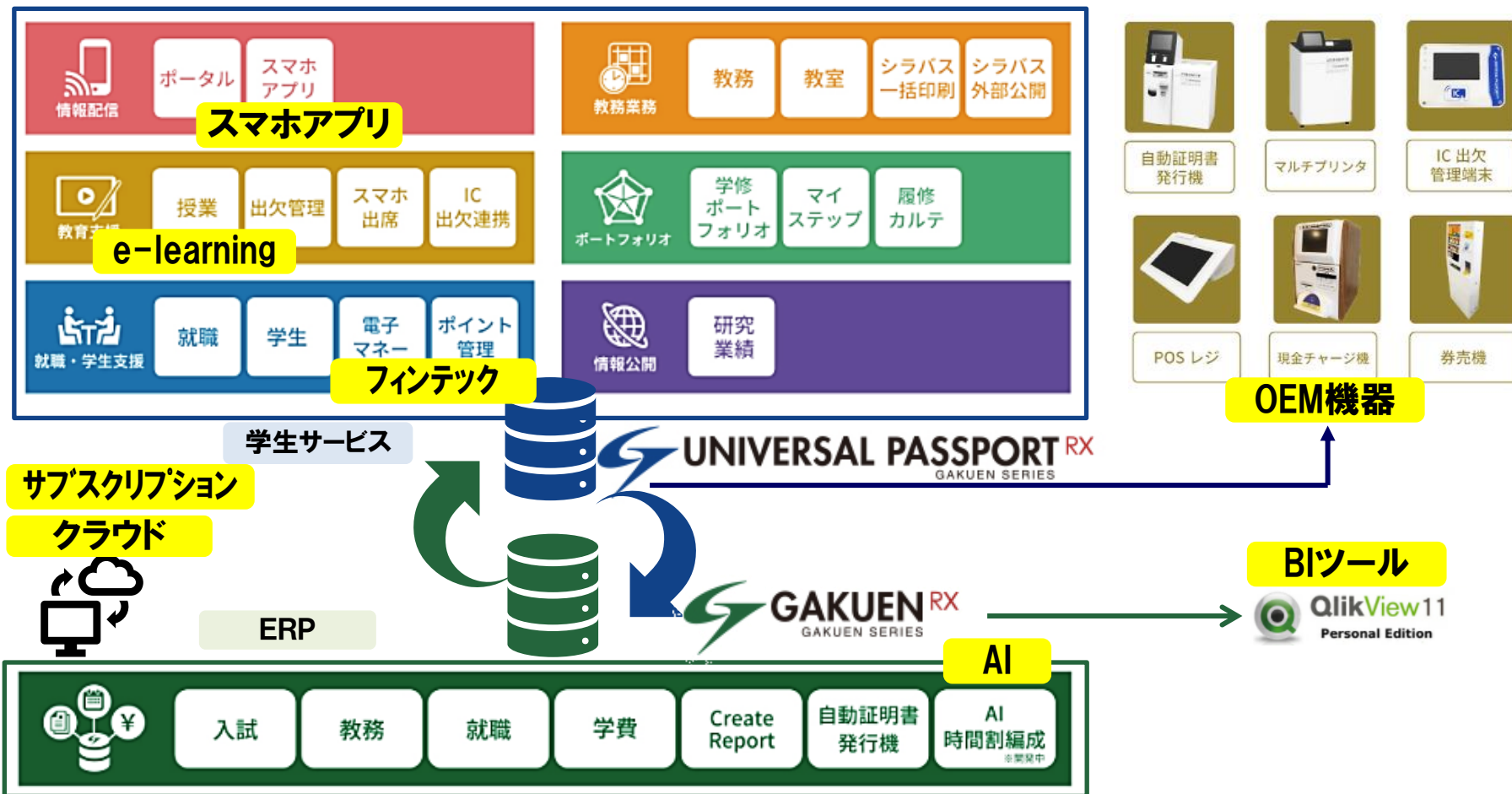
【新】中期構想

5. 今後の計画・方針

5-10. GAKUEN

現行サービス図

戦略



進行期施策 ➡ 更なる独走態勢

- ★最新RX製品のコンポーネント完成
- ★サブスクリプションの拡大
- ★AI、IoTプラットフォーム等ローンチ

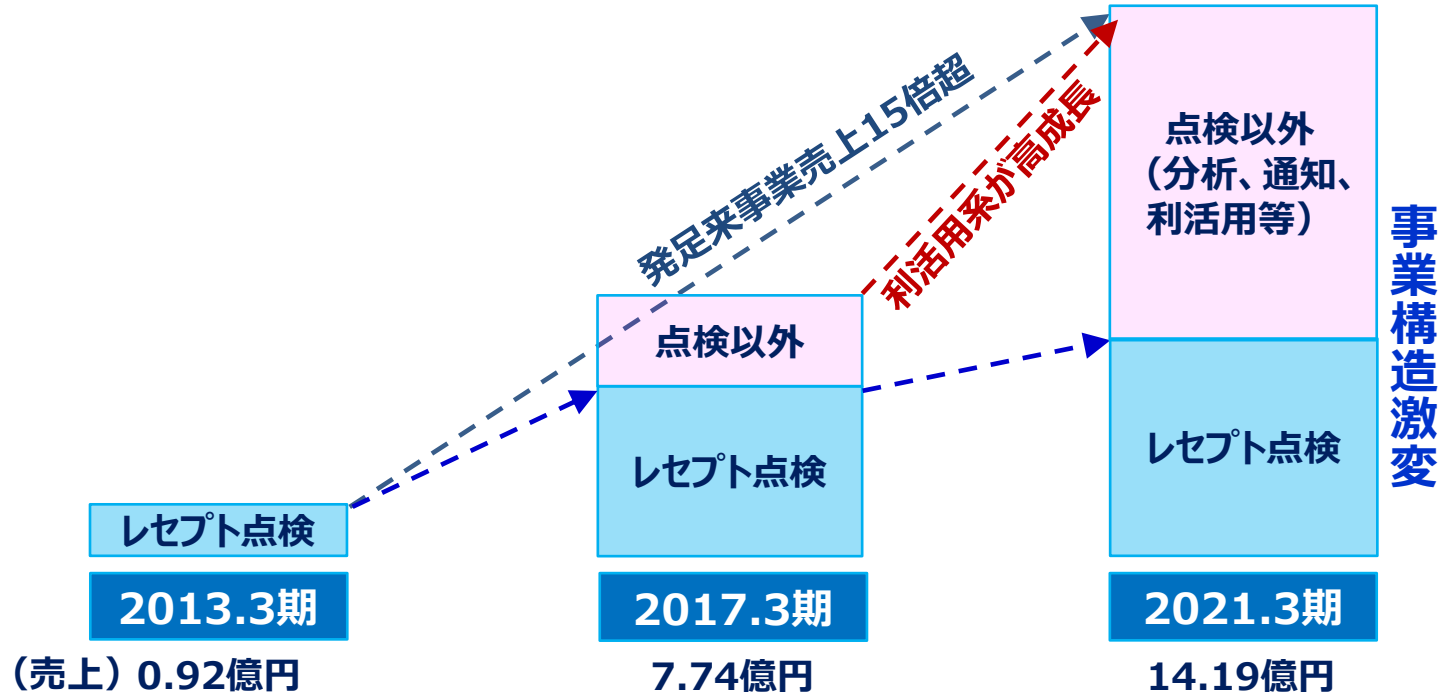


中期ビジョン ➡ 総合教育プラットフォームへ

- ★飽くなき製品・サービス・セキュリティ強化
- ★統合DXサービス化
- ★生涯学習を支援

★現状

- ◆月間レセプト処理数約800～1,000万枚
- ◆総顧客数300超
- ◆レセプト点検で蓄積されるビッグデータを軸にした分析・利活用系サービスが拡大

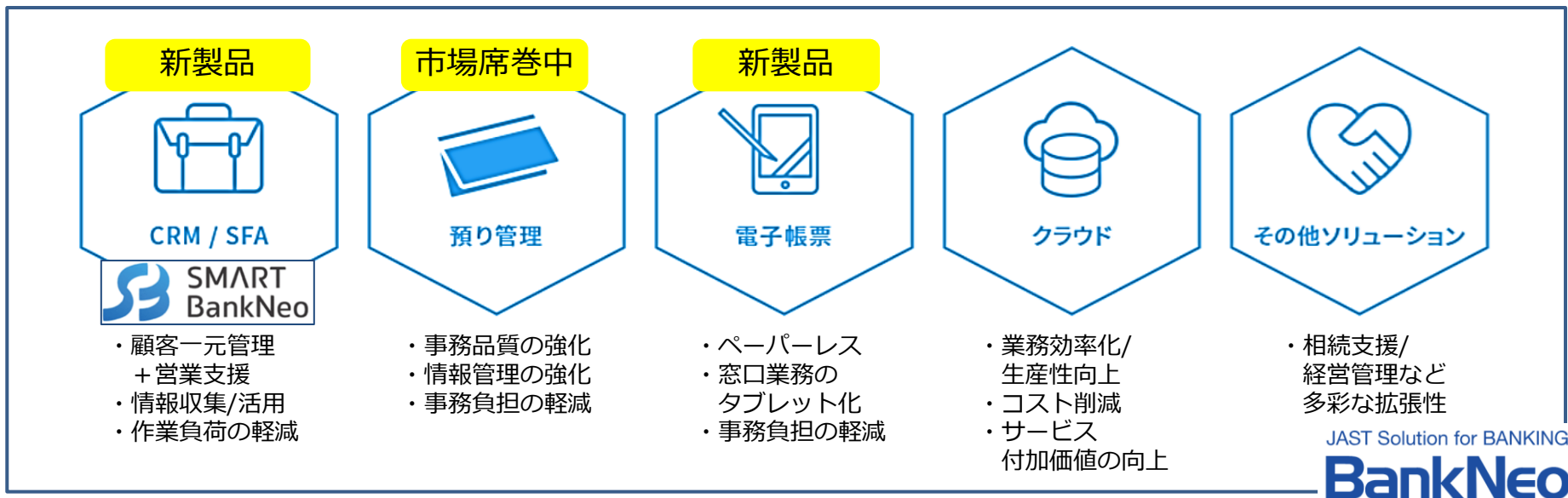


★戦略：医療データ専門集団化 → 高付加価値データプロバイダへ進化

- ◆点検サービスの完成形（最高精度、自動化、市場網羅性）追求でトップを狙う
- ◆アカデミア連携/ビジネスマッチングによる先鋭研究強化、応用商材開発
- ◆機械学習、高度統計アプローチ等によるサービスのハイエンド化
- ◆COVID-19対応：共同研究の更なる推進、商材開発

★現状

- ◆導入実績50行、商談中20行以上
- ◆新製品「SMART BankNeo」リリース
- ◆「預り管理」が大ヒット、導入先13行とハイペースで拡大中



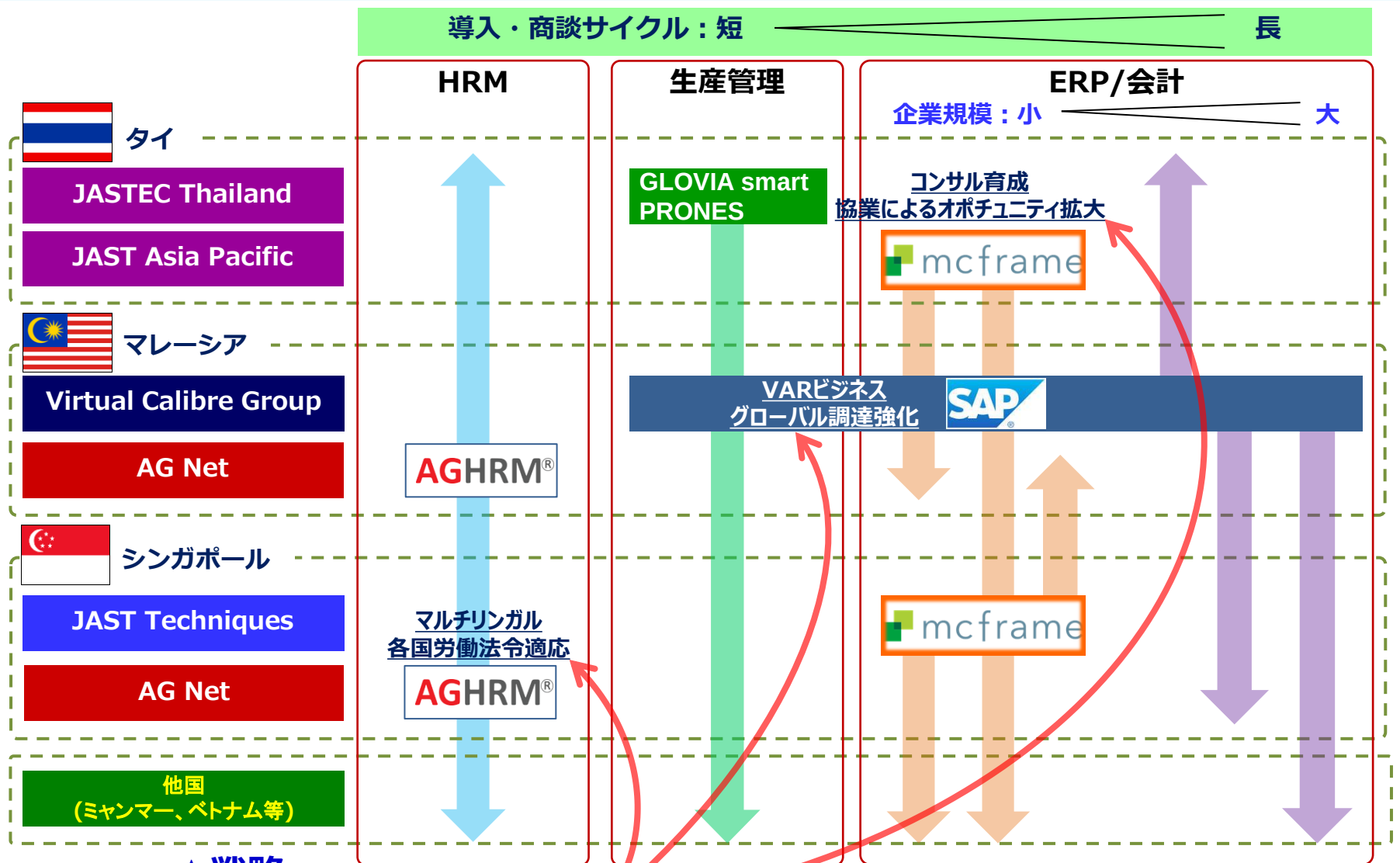
- ・全国の金融機関で多数の導入実績
- ・スモールスタートによる導入容易性と、導入後の高い拡張性
- ・SIで培った豊富な業務知識を活かした、顧客ニーズを的確に捉えたサービスラインナップ

★戦略

- ◆預り管理の拡大継続、続く新製品・特化商材の開発
- ◆マーケットに応じた“スマート”、“ニッチ”、“クラウド”戦術により、さらに小～さらに大規模の全金融機関へ市場ターゲットを拡大

5. 今後の計画・方針

5-13. ASEAN展開



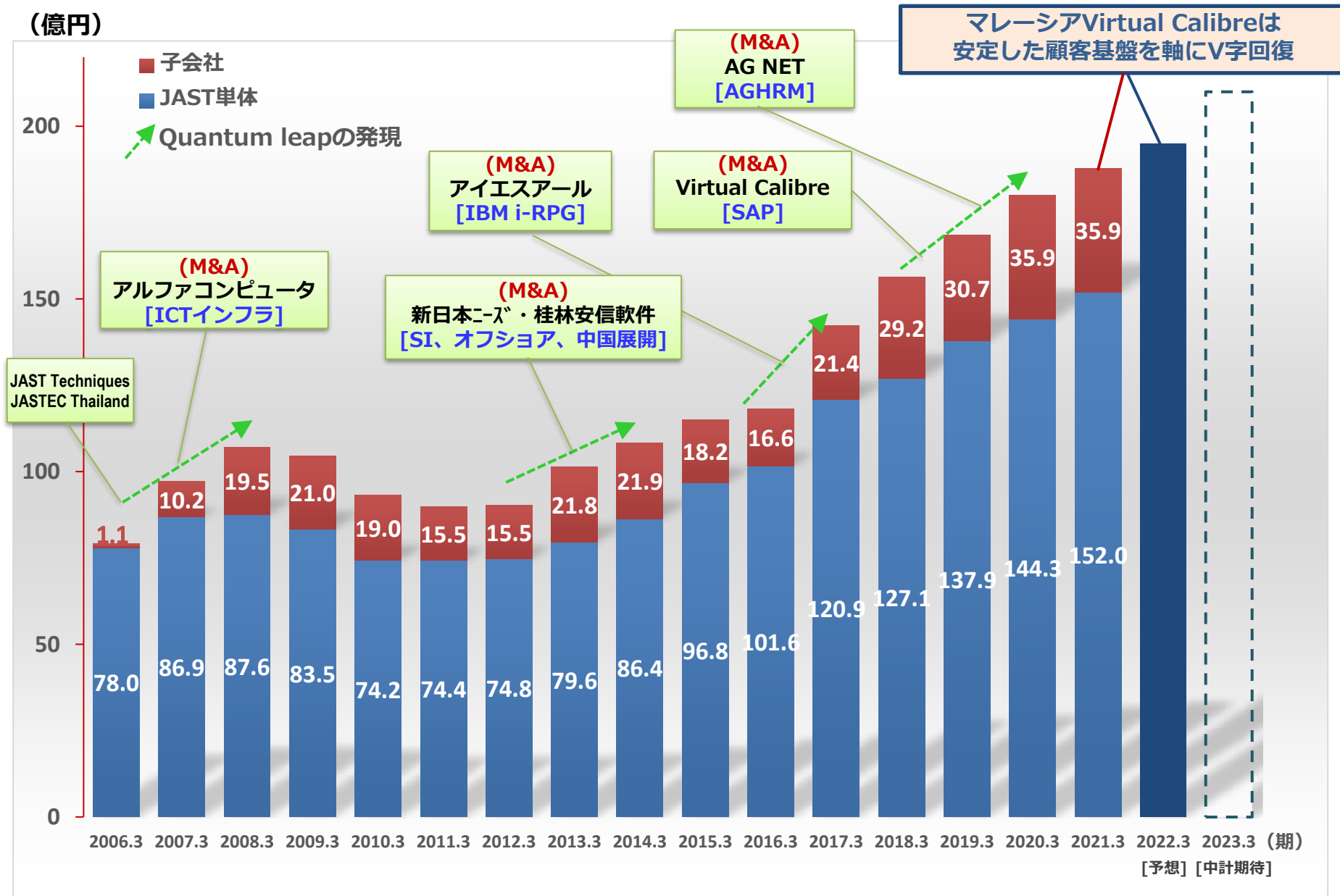
★戦略

- ◆リージョン/個社別戦略
- ◆親会社及び各社間の開発・営業協力

記載されている製品名などは、各社の商標または登録商標です。

5. 今後の計画・方針

5-14. グループ成長戦略、グローバル化（売上推移）



5. 今後の計画・方針

5-15. 新領域への適応とアライアンスターゲット

	ビッグデータ、 データサイエンス	NewNormal DX	ブロックチェーン フィンテック	AI、生体認証、 VR	クラウド
ソフトウェア 事業	✓ データサイエンス案件の拡大	アウトマージメント 「mieHR」 ✓ ECサイト構築	オフィス・キャッシュレス決済	✓ SI開発での適用・拡大 顔認証ソリューション	✓ SI開発での拡大 ✓ SAP AGHRM (ASEAN拡販)
GAKUEN 事業	✓ 大学経営意思決定支援 (BI) ✓ IR 教育ビッグデータ	✓ UNIPAアプリ ✓ 「UNIPA RX」でのE-learning機能搭載	✓ 学内電子マネー「UNIPA Pay」 ブロックチェーン活用ソリューション	✓ パッケージ機能AI化 パッケージへの追加適用	✓ GAKUENサブスクリプション
医療ビッグ データ事業	✓ 月間レポート処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大	✓ Webサービス「iBss」 ✓ 重症化予想モデル B to B to C商材		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レポート処理のAI化	✓ クラウド版レセプト点検
BankNeo (ソフトウェア事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ 預り管理 ✓ 電子帳票 非対面/事務効率化機能強化		パッケージ機能への適用	✓ SMART BankNeo
システム販売 事業	✓ 各種分析サービス	✓ モバイルデバイス対応			✓ データセンタークラウド ✓ セキュリティクラウド

凡例： ✓ 現業領域と施策

JASTブランド

計画中・開発中領域

ESG経営とSDGsへの取り組み

事業/経営戦略とESG/SDGsテーマを関連付け、実効性のある取り組みを推進

ESG経営

E nvironment

- ・オフィス/データセンタでの環境への取り組み
- ・ペーパーレスなど業務改善とDXによる環境負荷軽減

S ocial

- ・商材開発による社会的課題への貢献
- ・ワークスタイル改革による安全性/生産性/ワークバランスの向上

G overnance

- ・新コーポレートガバナンスコードへの対応
- ・BCPの向上にむけた運用訓練等の実施
- ・セキュリティ対策および社内啓蒙活動と訓練の継続実施

SDGs

JAST全事業

- ・産業構造の変革をICTでサポート
- ・共創/共同体制構築、エコシステム変革に貢献

GAKUEN事業

- ・ICT/テクノロジーを活用した学習活動のサポート
- ・教育ビッグデータ利活用による学びの質向上支援

医療ビッグデータ事業

- ・重症化予防や適正医療へ貢献
- ・共同研究を通じ感染症など医療問題へ取り組み

健康経営

- ・定期健康診断/人間ドックの受診促進
- ・長時間勤務撲滅

OfficeDX

- ・オフィスやデータセンタ等での環境問題対策への取り組み

人財戦略(成長戦略)

- ・社内研修制度の充実/社内認定資格の運用
- ・インターンシップの実施

人財戦略(採用戦略)

- ・人種/国籍/性別等にとらわれない採用と公正な処遇



不易流行

本質的なものを守る一方で、新しい変化を取り入れ、より多くの価値を創造していくこと

日本システム技術株式会社

Japan System Techniques Co., Ltd.

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。尚、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。

未来を、仕掛ける。

